

自習で子どもを育てる。 学級が本物かどうか、自習の時間を見たらわかる

「ぼくらのクラスは、ええなあ」 「先生がいなくても、大丈夫だよ！」

1. そもそも自習とは何か？

- ・ 広辞苑より・・・自分で学習すること。「自学自習」「自習時間」
そうなのです「先生がいない時、先生から課題を出されてそれをこなす時間のことを自習」・・・ではないのです。自分の意思、意図があってこそ自習になるのです。
- ・ 自分で考えて、自分で学習すること。そんな子どもは必ず伸びる。

2. どうすれば、自分たちで学習できるようになるのか

- ・ それには、その体験が必要。先生がいない時間をつくること。
⇒授業時間に遅れて教室に行く。校内の研究授業を見に行く。外へ出張に行く。
- ・ はじめは、課題を事細かく与えてみる。そして少しずつ減らしていく。
- ・ 5時間の自習時間をどう過ごさせるか？ 全部課題を与えるか、1時間ぐらいは自由にするか。最終的には、5時間すべて自由にしてみること。
- ・ ずっと一人でするのは難しい、ならばグループでする時間もつくってみる。

3. 自習の時の約束事

- ・ 目的があれば席は立ってもいい。友だちに教えに行く。辞書を調べに行く。黒板を使う。話し合う。隣のクラスの授業を邪魔しない程度の声は十分OK。
- ・ ただし、無言で黙々と漢字練習したりする心地よさも味あわせたい。
コトコトという鉛筆の音しか聞こえない教室もいいもの。

4. 普通の授業でも自分たちでする時間をつくる

- ・ 先生がいないと授業が始まらない、という状態の打破から始まる。
- ・ 学習係or日直(日番)が前に出て進めるやり方でもOK。
- ・ その時間の「学習のめあて」がはっきりしていたら始めやすい。「めあて黒板」設置
- ・ 先生がいても、先生が口を出さないで、子どもに授業を全部任せてみる勇氣も必要。

5. 「学習とは自分たちがするもの」の授業をやっていれば、「自習」はもう出来ている

- ・ 普段から、自分たちで考える学習をしていれば、自習は子どもにとって「楽しいもの」
- ・ 「授業を育てる」ことが「自習を育てる」ことにつながり、「自習で伸びる」ことが「授業も伸びる」ことにつながっていく。そして学級が本物になっていく。

番外編・・・でも大事！⇒遠くへの出張の時は、学級に必ずお土産を買ってくる

- ・ 教室で、こっそり食べる経験は「スリルがあって」「格別おいしい」「いい思い出」
- ・ お土産とともに、お土産話もしてやる。「先生もこんなこと勉強してきたよ」

おまけ・・・・・・・・4年1組仲島学級の「自習への取り組み」の変遷・・・・・・・・

学 習 とは

学習とは自分がするもの 学習とは自分たちがするもの

まず、とにかくやってみることだ そしてわからないことにぶつかったら

もう一回やってみるんだ いっぱい力を出し、いっぱい考えるんだ

ああしたらどうだ、こうしたらどうだ

いろいろ工夫し、調べ、話し合ってみるんだ

すると新しい発見に出会うはずだ

そして、またチャレンジしていくんだ

これが「学習」なんだ

この学習を支えてくれるのが仲間だ それを応援してくれるのが先生だ

そして、みんながよい顔になっていくんだ

★先生、ぼくはね、1年生から5年生までの中で、今日の授業が一番楽しかったよ。なぜかという、いつもだったら先生が授業を進めてくれるのに、今日はぼくたちだけで進められたから。先生が「今日みたいにみんなで授業をつくっていくとおもしろくなっていくよ」と教えてくれた。がんばるぞ。(渡辺司)

★今日勉強の楽しさがわかった。みんなで教え合ったり、協力することがこんなに楽しいことがわかった。これからもずっと続けて、いつか心が一つになるようにがんばる。一人ひとりの考えを言い合って勉強の力をつけたい。(西岡泰代)

★私は考えたり悩んだりするのはむずかしいけど、みんなで解決していくと、すごく楽しい勉強になった。考える力ってすごいなあと思った。これからも自分たちだけで勉強をしたいと思う。慣れてきたら、もう先生に言われなくても自分たちで行動できると思う。だから先生、これから少しの間、私たちだけで勉強をさせてください。(吉川啓子)

★先生が出張の時でも、静かに真剣にやっていきたいと思います。(千本浩史)

★理科をやっていた時、みんなで言い合いをしていたらよくいにごちゃごちゃしてしまいました。それで結局そのまま終わってしまいました。でも終わってから今度の理科の時にはちゃんとわかるようにしたいと思いました。(山田陽子)

★このごろ私は調べるのが好きになりました。自分でわからないところを調べて答えを出すのって気持ちいいです。答えがわかると調べた成果があったって思います。答えがわからなくても調べたんだとあきらめがつきます。これからも調べて自分で事実を知っていきたいです。(片山真理子)

(5年C組学級通信より抜粋)

★私はゴールパスゲームから学んだことがいっぱいあります。まず一つは支え合う仲間です。わからない子や苦手な子を教えてあげることから6班のチームワークが出てきました。そしてこの教え合いと助け合いは、算数などの勉強にも出てきました。(太田さおり)

★先生が、名前もルールも全部決めていたら、このゲームはそれほど楽しくなかったと思います。もしゴールパスゲームのことを先生が全部考えていたら、きっとうれしくても、とびはねるほどうれしさもなく、問題だって先生がかたづけてくれたら、こんなにいいルールはできなかったでしょう。(大野茜)(4年体育「ゴールパスゲーム」の授業後)

(はじめてみんなで勉強した時の写真 6月4日 国語 4年1組)